

学区活動の担い手づくり

平成 23 年度コミュニティ交流会
平成 24 年 2 月 22 日 (水) 14:00~
植田南コミュニティセンター

現在の学区活動の様子は？

現状

学区活動の後継者が少ないのはなぜ??

こんな意見が
でした!!

対策

どんなことができるかな？

高齢化

- ・高齢者が多く、なかなか担い手が見つからない

PR 不足

- ・地域の活動、学区役員の仕事に対してマイナスイメージが伝わっている（忙しそう、面倒くさそう）
- ・各種団体の活動の情報が入ってこない

若年層の地域ばなれ

- ・若い世代が町内会や子ども会など地域の団体に入ろうとしない
- ・まちづくりに協力しない、関心もない

役員の固定化

- ・一人の人が多くの仕事を兼任している

町内会

- ・町内会の加入率が低い
- ・町内会長や組長はくじで選んだり、順番にまわってくるようになっている（立候補する人がいないため）
- ・町内会長の任期は 1 年のところが多く、せっかく仕事を覚えてもらってもすぐ交替になってしまう ⇒ 後継者が育たない

シルバーパワーの活用

- ・定年過ぎた方で元気な方を発掘
- ・60 歳以上の方で自治活動やボランティア活動に興味を持っている方への勧誘活動

PR 活動

- ・様々な情報伝達ツールを活用
(例) 学区のホームページ、学区の広報誌、クチコミ…
- ・地域活動の全体像を分かりやすく、多くの住民に伝える
- ・地域活動の楽しさ、重要性、魅力を伝える
- ・地域の歴史、名産品など、自分の地域のことについて知ってもらい、地域に愛着を持ってもらう
⇒ 地域づくりに参加

イベントの実施

- ・イベント参加者に声をかけて、担い手を掘り起こす
⇒ 受け手側（参加者）から送り手側（企画者）へ
- ・祭り事業などを通して、地域活動の仲間に入ってもらう
- ・子どもを対象とした事業を積極的に実施
⇒ 親世代の参加が狙い

役割分担の見直し

- ・定年制の導入
- ・役員の再選回数を決めておく
- ・学区の役員は一人一役とし、兼任を控える

役員の育成

- ・役員の任期を 2 年以上とする
- ・役員経験者（OB・OG）は、役を外れても、行事に協力してもらえよう願う
⇒ 新役員の育成、引継ぎを確実にできる

ネットワークの活用

- ・子ども会、PTA、「親父の会」、消防団など…
⇒ 地域の団体に所属されている方から担い手を探す